

## 新都市医師会長の紹介

## 都市医師会長からの抱負

滝川市医師会

男澤 伸一 先生



平成26年5月21日の滝川市医師会総会とその後の理事会にて、第9代会長に男澤伸一先生が選出されましたのでご紹介いたします。

先生は昭和53年帝京大学をご卒業され、その後、同大学小児科、旭川医科大学第3内科で研さんを積み、昭和63年6月市内で内科医院を開業されていたお父上の急逝に伴い、医院を継承されました。

日々の外来診療や週一回の特別養護老人ホームでの訪問診療の傍ら、医師会活動にも積極的に参加され、平成8年には滝川市医師会理事に就任。その後は平成11年介護認定審査会合議体会長、平成14年には滝川市医師会立准看護学院学院長、平成19年には三師会会長、そして、このたび万難を排して滝川市医師会会長に就任いたしました。

また社会文化活動にも情熱を注がれ、その人望を買われて平成13年には50歳で滝川中央ライオンズクラブ会長をお務めになられ、現在は滝川音楽協会会長、滝川文化連盟副会長に就任されています。

先生が開業された当時は病床規制が行われる前年でもあり、当中空知地区では多くの医療機関が新規開業いたしました。私もその年、先生より5ヵ月遅い11月に新規開業いたしました。出身大学や医局は違いますが、同期で同年齢であり、標榜科も同じであることから、講演会や会議の後に繁華街に繰り出し、他愛のないことで議論をしたものでしたが、酔いが回った中でも、先生の知識の深さに裏打ちされた的確な発言には驚かされるが多々ありました。

今後、会長に就任されてますますご多忙になると思われませんが、体調管理に十分留意され、18年間の理事経験を生かして、今まで仕えてこられた代々の会長が種をまいたさまざまな事業を引き継ぎ、さらにはそれらを開花させ、新しい医師会活動に邁進されることを祈念いたします

滝川市医師会 副会長 文屋 学

空知医師会会長就任のご挨拶

空知医師会会長

明円 亮



このたび、平成26年6月10日開催の一般社団法人空知医師会総会にて、医師会長に選出されました。会長選出は平成24年に続き、今回が2期目となります。

空知医師会は砂川市を中心に、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町花月地区から成り、平成26年4月時点の空知医師会会員数は115名です。そのうち砂川市立病院の医師が87名で、勤務医主体の都市医師会です。砂川市立病院の諸先生方には副会長ほか医師会の役員に就任していただき、積極的に会合や行事に参加してもらっています。

昨年末から、砂川市立病院事業管理者で北海道医師会副会長の小熊豊先生が、『地域で在宅・介護ケアを考える会』を立ち上げました。この会は空知医師会の範囲で砂川市立病院と砂川市が中心となり、医師会、保健所、公立病院、地域包括支援センター、訪問看護ステーションなどが参加し、在宅介護を考える上で何が問題なのかを洗い出し、個別に検討し結論を出すことを目的として開催されています。問題の洗い出しだけで終わることが多かった従来のと異なり、結論を出し、実行することを目的としており、小熊先生のリーダーシップが期待される所です。医師会の諸先生方にはいまだ十分に伝わっておらず、これから医師会内で議論を深め、積極的に協力してまいりたいと思っています。